前回委員会での主なご意見と 今後の対応

令和4年12月 国土交通省北陸地方整備局 信濃川河川事務所

前回委員会での主なご意見と今後の対応



項目	主なご意見	今後の対応
事業監理	・大河津分水路改修事業は令和3年度で着手から7年目となり、令和元年東日本台風による洪水の発生に伴う事業計画の変更が生じた中でも適切に進捗していることを確認した。河川整備計画の変更に伴い事業メニューが追加となるが、今後も工事の安全に留意しながら、適切な事業監理を図ってほしい。	・今後も工事の安全に留意しながら、 引き続き事業全体の進捗状況の監理 に努めてまいりたい。 (資料-2参照)
コスト縮減	・事業計画の変更について、変更内容及び事業費増の必要性について了承した。 事業計画の変更は、令和元年東日本台風による洪水によるものであり、やむを 得ないが、コストの大幅な増加とならないように、引き続きコスト縮減に努めてほ しい。	・事業費については、工夫しながら引き 続きコスト縮減に努めてまいりたい。(資料-2参照)
第二床固における 出水を想定した 安全対策	・令和3年8月の前線による洪水等、これまでの教訓を踏まえ、第二床固改築工事の施工時期、方法の見直し等が計画されているが、今後も同様の洪水が発生する可能性があり、洪水を想定した施工や仮設構造物の安全対策に努めてほしい。	・厳しい現場施工条件であるが、安全 管理を徹底のうえ効率的な施工計画の 立案に努めてまいりたい。 (資料-2参照)
環境	・事業の実施にあたり、周辺環境への配慮、工事全般の安全性確保に努めてほしい。 ・河川整備計画の変更に伴い、新たに低水路掘削工事の掘削土が増加となる ため、環境に配慮した適切な処理の計画をお願いしたい。	・今後も周辺環境への配慮、工事全般の安全性確保に努めてまいりたい。 ・低水路掘削工事の掘削土についても、 山地部掘削と同様に環境に配慮し適切 に対応してまいりたい。
広報	・事業の意義や効果に関する広報は非常に重要であるため、引き続き広報による情報発信に努めてほしい。また、河川整備計画の変更等、住民の安心に繋がるような新たな情報についても積極的な情報発信をお願いしたい。	・広報による情報発信により、改修事業 全体の意義や目的についても理解を 深めてもらう取り組みを引き続き行って まいりたい。 (P2~4参照)

大河津分水路「令和の大改修」の情報発信



- R2年7月22日にフルオープンした「にとこみえ~る館」は、コロナ禍において感染防止対策を実施し、途中臨時休館(約2カ月間)があったものの、R4年7月には開館2周年を迎え、翌8月5日には来館者2万人を達成。 R4年10月末時点での来館者数は、22,795人。
- ■「Twitter」や「YouTube」も活用して、工事の最新情報等を積極的に発信。

「令和の大改修」の情報発信基地「にとこみえ~る館」の来館状況











来館者2万人目の小学生の皆さん



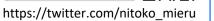
「にとこみえ~る館」を見学する児童 (燕市立島上小)

Twitter(ツイッター)による情報発信

「にとこみえ〜る館」コンシェルジュが、工事の様子や使用している建設機械などの工事に関わる最新情報などを発信中。

(R4.10現在フォロワー数 約424)









YouTube (ユーチューブ)による情報発信

2015(平成27年)着手の大河津分水路「令和の大改修」、2019(令和元年)の 大洪水、2022(令和4年)の大河津分水通水100周年など、越後平野を守る大河津 分水の大きな節目に併せ、4つの動画を制作し公開中。

分水路を100m拡げる 令和の大改修





通水以来最高水位を記録した 晴天の大洪水



YouTube: https://www youtube.co m/watch?v= Yf4a86zqQII

100年前の工事を描いた「あの山を拓く」



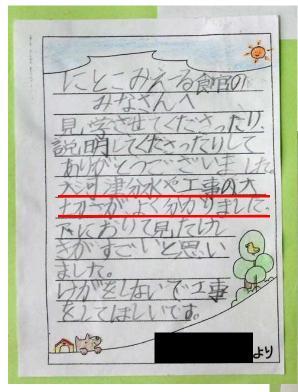


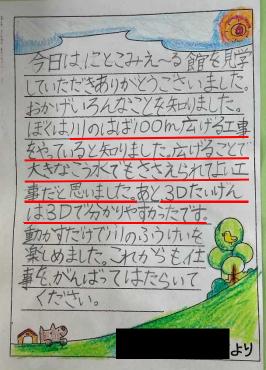
大河津分水路「令和の大改修」の意義や効果(未来にバトンを繋ぐ)

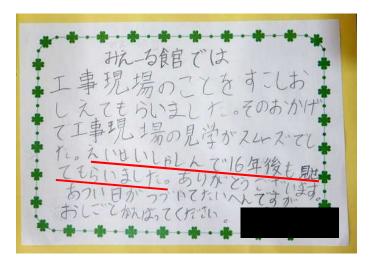


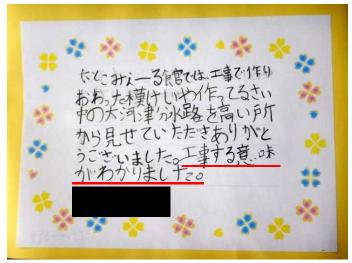
- ■「にとこみえ~る館」は、近傍の総合学習の場として、信濃川流域市町村の小中学校の児童・生徒の皆様が多く来館。
- CIMモデルを用いたVR(仮想現実)で大河津分水路「令和の大改修」の未来を体感でき好評。
- 工事を間近で見ることができ、事業全体の意義や目的についても理解が深まる。

子ども達からのお礼状









大河津分水路「令和の大改修」の広報誌(分水路だより)



- 大河津分水路「令和の大改修」について、事業の実施状況紹介や工事関連イベントの告知等周知を目的に、毎月1回発刊。
- 平成27年5月の第1号発刊から、令和4年12月現在において第92号までを発刊。
- 広報誌「分水路だより」は、大河津分水路の沿川自治体には回覧により全戸配布。その他大河津資料館等にも配布。



R4年4月号【M.84】

R4年5月号[No.85]

R4年6月号[No.86]

R4年7月号[No.87]

R4年8月号【No.88】



R4年9月号[No.89]



R4年10月号[No.90]



R4年11月号[No.91]



R4年12月号[No.92]

●「分水路だより」配布先・配布部数

配布先	配布部数
燕市旧分水町	約580部
長岡市旧寺泊町	約460部
長岡市旧与板町	約310部
長岡市旧中之島町	約400部
その他	約250部
合 計	約2,000部

全てご覧になりたい方は、 信濃川河川事務所HP (大河津分水路「令和の大改修」 「大河津分水路「令和の大改修」 情報館)をご覧ください。 情報館)をご覧ください。

